

## 2016年度第5回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2016年12月9日（金） 午後6時45分から
- 2 場所：国分寺労政会館 第2会議室（3階）（国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：5名  
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡  
欠席者：清田義昭、平山恵三、矢崎省三  
事務局：
- 4 報告及び協議事項
  - (1) 第1号議案 会員の動向について【報告】
    - ・2016年12月2日現在  
正会員 91名3団体 賛助会員 41名1団体 合計136名・団体  
※ 10月23日に新入会（賛助会員）1名あり
    - ・例年、1月送付の通信に会費未納者へ、会費入金のお願いを同封している。今年度も準備中。
  - (2) 第2号議案 第27回多摩デポ講座：多摩地域の図書館行政を担う図書館員に聞く（その3）『私の図書館での仕事、そして多摩六都連携』について【報告】
    - ・パネルディスカッション パネラー：伊藤高博館長（清瀬市）、岡野知子館長（東久留米市）、田中香代子館長（東村山市）、奈良登喜江館長（西東京市）
    - ・司会：湯澤瑞彦館長（小平市） 全体司会：齊藤
    - ・日時：11月14日（月） 午後6時30分～8時30分
    - ・会場：立川市女性総合センターアイム
    - ・参加者：85人 講師：5人（計90人）
      - ・大変大勢の方が参加され、盛会だった。受付で参加者に記名していただけていないが、5市からの参加が過半数ではあろうか。多様な参加があった。
      - ・「多摩六都」の図書館連携の発足から現状まで、当事者達による貴重な証言。そして図書館員としての経験、図書館長として取り組んできたこと、後輩たちに伝えたいこと。
      - ・講師の発言はみな率直で鋭いものがあり、司会の湯澤館長が様々なテーマ、違う方向からの発言を上手に引き出され、まとめておられた。
      - ・北多摩5市の図書館および図書館長達の日頃からの連携、信頼感が前提にあった。
      - ・資料保存関係の話も出たが、多摩デポの活動と直接かかわる内容ではなかった。多摩地域の横のつながりを再構築していくという点では、よかったのではないかな。
      - ・「多摩地域の図書館行政を担う図書館員に聞く」という企画は続けたい。
      - ・初めての参加者が大勢おられ、入会者はいなかったが、多摩デポの認知にもなったのではないかな。次回の講座にも参加人数増が続いていくような取り組みを行いたい。
      - ・懇親会も20名参加、盛会だった。
  - (3) 第3号議案 TAMALASの普及活動について【報告・協議】
    - ・多摩地域で最後の2冊を保存するための基盤整備としてTAMALASを開発している。その目的や運用の普及活動の一回目として、多摩北部都市広域行政圏（小平・清瀬・西東京・東村山・東久留米）の図書館を対象に地区別説明会を行った。具体的には小平市図書館が他の四市の職員も参加できる職員研修会を行う日の午後にTAMALASの説明会を設定してもらった。

- ・日時、場所 12月8日(木) 小平市図書館会議室  
内容：午前 職員研修会(レファレンスの基礎 講師：齊藤) 午後 小講演(図書館電算システムの現状とTAMALASの意義 講師：吉本) TAMALAS説明とデモ(講師：吉本)
- ・参加者：20名(小平・清瀬・西東京・東村山・東久留米の各市から。)
- ・(吉本氏の講演も含む)単なるパソコンを使ったデモでない企画が、有効だったと思われる。
- ・TAMALAS自体はホームページ上に公開してあるわけだが、説明付きの会合を持つことで、(普段使っているという参加者からも)具体的な処理方法をめぐる質問が寄せられ、私たちがこの間に行なってきた細部の工夫も説明していくことができた。
- ・普段、メニューに従い検索結果を得ているだけであろう都立図書館の統合検索が持っている課題などにも注意喚起することができた。
- ・現在公開している個別検索メニューだけでなく、(西東京市で試行した)ISBNデータを送られての大量一括処理の方法についても説明できた。
- ・一昨年から昨年にかけて行なった、多摩地域の全図書館の所蔵するISBN付き図書の全タイトルを把握して得られるデータから見える課題についても、若干は触れることができた。

#### (4) 第4号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

##### (1) 西東京市での除籍候補資料の大量検索処理の結果について

- ・約7000件の結果を返したが、西東京市ではその結果に従い、順次、保存する資料、除籍している資料の整理を行っている(現在、約3分の2が終了)。多摩地域で1冊2冊の結果だった資料についてはデータにフラグを立てて保存するとのこと。
- ・この検索結果がなければ処理が行なえず、大変助かった、とのこと。実用の目途が立った。
- ・西東京市からは、出力帳票に本のサイズ等のデータが付いて入れば現物を取り出しやすいなどの実務的なアドバイスをもらう一方、カーリルからは、ISBN付きの蔵書リストを出すことがまだ図書館システムでは標準仕様でないという課題も出されている。
- ・カーリルからは、大量データを送付してもらい作業をカーリルが行なうのではなく、多摩デポホームページから大量検索したい図書館自身がデータを投入して結果を得るシステムも可能との見通しが出された。

##### (2) TAMALASの改良について

- ・ハイフンのある無しに関わらず同じ検索が可能、検索結果が2冊以下の場合には別の音が注意喚起のために鳴る、検索が繋がらなかった図書館名は別の色で表示し注意喚起となるようにする、などの改良を行った。又、国立国会図書館に書誌データのある図書については書名が表示できるようにした。

##### (3) ISBNの付与されていない資料の同定識別について

- ・一筋縄ではいかないが、このことは日本各地で次の課題になっていることである。カーリルが他で共同で研究開発している動向を聞き、またその動きに協力もしながら今後も引き続き取り組んでいく。
- ・多摩地域の図書館でも、TAMALASの普及によりISBN付き資料の点検、処理が容易になれば、このことの需要は今後さらに表面化、焦点化してくると思われる。

#### (5) 第5号議案 第28回多摩デポ講座『国立国会図書館の蔵書デジタル化計画とまちの図書館、読書の未来』パート2について【報告・協議】

- ・講師：徳原直子氏
- ・日時：2017年1月下旬から2月上旬
- ・会場：国分寺労政会館（前回講座程度の会場が妥当か）
- ・事前に講師に今回の講座で聞きたいことや質問などを事務局でまとめ、連絡する。
- ・盛会だった第27回講座の実績が引き続くよう、広報の仕方を工夫したい。現役職員の参加を促す取り組みを考える。
- ・ホームページに、講師より提供された内容豊富なレジユメのデータをアップした。

(6) 第6号議案 第29回講座『新都立多摩図書館の施設見学会』について【報告・協議】

- ・新都立多摩図書館は2017年1月29日（日）に開館すると既に広報され、職員は新施設移っ開館準備にあたっている。オープン記念行事や館主催のバックヤードツアー（毎回10名限定）の募集も始まっている。
- ・NPO団体としてのバックヤードを含めた見学を申し入れた（希望としては20名と伝えた）。広く広報していく館の方針であるが、受け入れ方の詳細が未定なため、12月中に、目途がいたら電話連絡をしていただくことになっている。

(7) 第7号議案 多摩デポ通信第41号について【報告・協議】

- ・第41号を1月初旬～中旬に発行・発送を予定。
- ・同封物（第28回多摩デポ講座のチラシ）を早く送りたいので急ぎ、編集、発行する。

<記事内容>

- ・理事長の年頭のあいさつ
- ・第27回講座の報告、参加者の感想
- ・第28回講座の企画紹介、前回の紹介、（日程・会場を確定した上で）広報
- ・新都立多摩図書館の開館にかかわる最新情報や、都立に対する多摩デポとしての意見
- ・カーリルとの共同研究（小平職員研修会の報告も含めて）
- ・第29回講座・見学会について決まっていることがあれば広報

<同封物>

- ・第28回多摩デポ講座の案内チラシ
- ・読売新聞多摩版連載「たま手箱」コラムの11月、12月分（2回）

(8) 第8号議案 2017年度総会の準備について【報告・協議】

- ・来年5月には通常総会を開催する。課題の整理を始めたい。
- ・準備スケジュール → 2月理事会には、総会議案書案（事業報告・事業計画）を提案し検討し、4月理事会に修正案を再提出、議案を確定する。
- ・総会開催日は5/21(日)を候補とする。
- ・役員改選について
  - 現役員は2015年5月31日就任で任期2年なので、次の総会時に任期満了改選となる。理事・監事の方は皆、継続していただけるか。役員改選がある総会なので、継続する役員は全員出席が前提となる。
- ・総会記念講演会の企画については、次回以降に検討する。

(9) 情報交換

【共同保存図書館関連論文】

- ・「ISBN コードの重複、書誌割れ……クラウドソーシングで同定して横断検索システムを改善、京都府立図書館やカーリルらが連携プロジェクト」(INTERNET WATCH 12月1日永沢茂) 記事 <http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1032876.html>

【読売新聞 多摩版コラム「週刊たま手箱」】

- ・10月26日掲載「50年後まで残したい本」(堀 渡)
- ・11月30日掲載「学校司書 更なる配置を」(蓑田明子)
- ・次回及びそれ以後の分を募集中

- |            |               |         |
|------------|---------------|---------|
| ★ 次回の理事会   | 2017年2月24日(金) | 午後6時30分 |
| ☆ 次回の事務局会議 | 2017年1月6日(金)  | 午後6時30分 |
| ★ 共同研究定例会  | 2017年1月19日(木) | 午後6時30分 |

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事、堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016年12月9日

議長

議事録署名人

議事録署名人